

2021年度

総 会 議 案 書

【日時】 2021（令和3）年5月22日（土）

午前10時00分

【場所】 川越市役所 7AB会議室



かわごえ環境ネット

総 会 次 第

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事
 - (1) 議案第1号 2020年度事業報告
 - (2) 議案第2号 2020年度決算報告及び会計監査報告
 - (3) 議案第3号 2021年度事業計画
 - (4) 議案第4号 2021年度予算
5. 議長解任
6. 閉会

議案第1号

2020年度事業報告

1. 主な事業

事業一覧

年 月 日	事業内容
2020年 4月 3日 (金)	月刊かわごえ環境ネット 2020年4月号 (No.162) 発行
14日 (火)	池辺公園定例活動
5月 1日 (金)	月刊かわごえ環境ネット 2020年5月号 (No.163) 発行
10日 (日)	春の里山 自然観察&クリーン活動 (スタッフのみで実施)
11日 (月)	(仮称) 川越市森林公園計画地 調査・保全活動
12日 (火)	池辺公園定例活動
23日 (土)	2020年度総会 レストランニューフジ 川越店にて (出席13名・委任98名:計111名)
25日 (月)	(仮称) 川越市森林公園計画地 調査・保全活動
6月 2日 (火)	月刊かわごえ環境ネット 2020年6月号 (No.164) 発行
4日 (木)	池辺公園定例活動
7日 (日)	川の一斉水質調査
8日 (月)	(仮称) 川越市森林公園計画地 調査・保全活動
27日 (土)	田んぼの生きもの調査 (動物編) (NPO法人かわごえ里山イニシアチブと共催)
7月 1日 (水)	月刊かわごえ環境ネット 2020年7月号 (No.165) 発行
13日 (月)	(仮称) 川越市森林公園計画地 調査・保全活動
19日 (日)	夏の郊外クリーン活動
8月 1日 (土)	虫の観察会 (環境政策課と共催)
4日 (火)	月刊かわごえ環境ネット 2020年8月号 (No.166) 発行
5日 (水)	まち歩き暑さ測定ツアー (環境政策課に協力)
11日 (火)	池辺公園定例活動
9月 1日 (火)	月刊かわごえ環境ネット 2020年9月号 (No.167) 発行
8日 (火)	池辺公園定例活動
14日 (月)	(仮称) 川越市森林公園計画地 調査・保全活動
20日 (日)	川越水上公園の生き物調査会 (環境政策課と共催)
28日 (月)	(仮称) 川越市森林公園計画地 調査・保全活動
10月 4日 (日)	2020アースデイ川越 in 昭和の街出展
7日 (水)	月刊かわごえ環境ネット 2020年10月号 (No.168) 発行
11日 (日)	2020アースデイ川越 in 昭和の街出展
12日 (月)	(仮称) 川越市森林公園計画地 調査・保全活動
13日 (火)	池辺公園定例活動
17日 (土)	秋のクリーン活動
26日 (月)	(仮称) 川越市森林公園計画地 調査・保全活動

	31日(土)	古谷湿地さかな観察会(環境政策課に協力)
11月	2日(月)	月刊かわごえ環境ネット2020年11月号(No.169)発行
	7日(土)	環境講演会 「プラスチックごみはなぜ減らないのか〜リサイクルと減量方法〜」
	9日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
	10日(火)	池辺公園定例活動
	23日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
12月	5日(土)	月刊かわごえ環境ネット2020年12月号(No.170)発行
	8日(火)	池辺公園定例活動
	14日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
	20日(日)	歳末まち美化活動(スタッフのみで実施)
2021年	1月 1日(金)	月刊かわごえ環境ネット2021年1月号(No.171)発行
	11日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
	12日(火)	池辺公園定例活動
	25日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
	2月 2日(火)	月刊かわごえ環境ネット2021年2月号(No.172)発行
	8日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
	9日(火)	池辺公園定例活動
	22日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
	27日(土)	第19回かわごえ環境フォーラム
	3月 3日(水)	月刊かわごえ環境ネット2021年3月号(No.173)発行
	8日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
	9日(火)	池辺公園定例活動
	22日(月)	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
	27日(土)	かわごえの生き物をたずねて(環境政策課と共催)

【会議】	理事会	12回開催
	広報委員会	12回開催
	社会環境部会	12回開催
	自然環境部会	11回開催
	事業運営委員会	11回開催

2. 総括及び全体事業

2020年度は、本会設立20周年となる記念の年でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、多くの行事が中止または縮小開催となり、事業継続のために試行錯誤を続けた年となりました。このような中でも、プラスチックの使用や廃棄に関する問題や2030年を目標年とするSDGs（持続可能な開発目標）、2050年の日本としてのカーボンニュートラル達成の宣言など、環境にまつわる関心は高まりを見せており、本会として、対面のみならず非対面での事業継続を検討しながら事業を進めました。

以下に、本会の目的である「川越市環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐるみで本市の望ましい環境像実現のための取り組みを活発にすること」に基づいて、以下に5つの事業について、全体事業を中心とした2020年度の具体的な事業報告を記します。

- (1) 【交流事業】設立20周年記念事業のメインイベントとして、2021年2月27日に「第19回かわごえ環境フォーラム」をウエスタ川越で開催するとともに、オンライン同時配信を行いました。また、録画配信を行い、さまざまな形態で情報伝達を行いました。
- (2) 【普及・啓発事業】地域のごみ削減による環境改善と持続可能な開発につながるライフスタイルの普及・啓発に資する「クリーン活動」については、7月19日の「夏の郊外クリーン活動」と「川越まつり会場クリーン活動」の代替となる10月17日の中心市街地における「秋のクリーン活動」を公開で実施しました。なお、5月10日の「春の里山 クリーン活動&自然観察」と12月20日の「歳末まち美化活動」については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、非公開での実施となりました。
「2020アースデイ川越 in 昭和の街」は、オンラインを中心とした行事となりました。本会では、10月4日・11日に2つのオンラインワークショップ『みつけてみよう!!みんなのおうちからつながる世界』と『「川越の自然」バーチャルツアー』を2日間で計8回開催し、オンラインでの参加者と交流しながら行事を実施することができました。また、当日の様子について録画配信を行いました。
月刊かわごえ環境ネットのコラムは、「かわごえ環境STYLE」「社会と環境について思うこと」の2つの新連載と、継続連載の「川越の自然をたずねて」「川越の「宝」をたずねて」の計4つを掲載し、環境活動に関する普及・啓発を図りました。
- (3) 【調査・研究事業】6月7日の川越市内河川における「川の一斉水質調査」を流域団体の参加団体として実施しました。また、専門委員会において環境調査や保全活動を実施するとともに、川越市が主催する「まち歩き暑さ測定ツアー」（8月5日に仙波河岸史跡公園周辺で開催）と「かわごえ生き物調査」に協力しました。さらに、「川越市環境行動計画」の推進のため、川越市と協働して「環境に配慮した行動（チェックシート）」を、大学生と市民に対してインターネットを通じて実施しました。
- (4) 【学習支援事業】専門委員会において環境講演会を実施し、会員への研鑽の機会を提供しました。
- (5) 【広報・情報事業】本会の広報紙として「月刊かわごえ環境ネット」を年12回発行し、情報の蓄積と共有を図りました。また、「会員限定メールサービス」を発行し、情報のデジタル化を推進しました。

対外的には、Web サイトの運営とソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) の Facebook、Twitter を活用し、本会並びに会員の情報を広く社会に発信することに努めました。また、行事のオンライン配信に合わせて YouTube チャンネルを開設し、動画での記録と情報配信を実施しました。

刊行物としては、第 19 回かわごえ環境フォーラム『かわごえ環境活動報告集』を発行し、市民・民間団体・事業者・大学・行政等の環境活動に関する情報を集成しました。今回は、オンラインでの配信に合わせて報告集の電子化を行い、ホームページでダウンロードできるようにしました。また、川越市が発行する『令和 2 年度版 かわごえの環境 (第 4 号)』の「市民・事業者の環境への取組状況」に、前年度の川越市環境行動計画の「環境に配慮した行動 (チェックシート)」の集計結果及び川越市における本会等の協働事業を掲載しました。

3. 広報委員会

年間 12 回の「月刊かわごえ環境ネット」を発行しました。1 年間の広報紙のページ数は、4 月から順に 16,12,16,14,18,18,18,20,16,14,16,18 の計 196 ページとなりました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により本会や会員の活動が少なくなり、前年度の 232 ページから 16%ほどページ数が減りました。各号は、印刷して会員へ郵送するとともに、公民館等のラックへの設置を行い、発行部数は 400 部となっています。さらに本会ホームページに PDF ファイルを掲載しました。会員限定メールサービスは、利用者が 59 名 (前年度末より 19 名増加) となりました。

自然環境部会が担当するコラム「川越の自然をたずねて」は第 84 回から第 95 回までの 12 回、社会環境部会が担当するコラムは、6 月までは「社会環境部会から提言」として第 15 回から第 16 回まで 2 回、7 月からは「社会と環境について思うこと」として第 1 回から第 8 回まで 8 回の計 10 回掲載しました。また、飯島希理事が執筆する「川越の「宝」をたずねて」を第 10 回から第 21 回まで 12 回分、8 月からの新連載として石川真理事が執筆する「かわごえ環境 STYLE」を第 1 回から第 7 回の 7 回分掲載しました。さらに、報告記事として、本会の活動報告、会員・関係団体の活動の掲載に努めました。予告は、本会主催の事業の他に、後援事業や会員団体等の事業についての予告を掲載しました。

現状では用紙使用量が多く、印刷並びに郵送にかかる費用と環境負荷の観点から積極的なデジタル化が求められます。紙面のスリム化、部数の削減とともに、インターネットメディアでの記事掲載の拡大を行うことで、これらの問題を解決しなければならないと考えています。

4. 社会環境部会

2020 年度の社会環境部会では、6 月の例会から部会代表、副代表が変わり、新体制となりました。体制は変わりましたが、引き続き「持続可能な社会の構築」、「地球温暖化対策の推進」、「循環型社会の形成」の 3 つの大きな目標を掲げ、これらを地域レベルで推進していくための活動に努めました。しかしながら、本年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、例年実施していたイベント等への参加は大幅に減少しました。

(1) 定例部会の活性化とコラムの充実

定例部会においては、新体制になり改めて社会環境部会の役割や活動フィールドの確認、

また新規の活動案についての意見交換をしました。また、部会員同士のコミュニケーションを図っていくため、気候変動に関して感じていることのディスカッションをし、月刊紙にて報告を行いました。

コラムについては月刊紙7月号より「社会環境部会からの提言」から「社会と環境について思うこと」にタイトルを変更し、より身近な表現で社会環境に関わるテーマを取り上げていくこととしました。2020年度の社会環境部会のコラムでは、身近なごみ問題やグリーンインフラ、気候変動と豪雨被害、郷土の景観と土地のものがたり、脱プラスチックへの挑戦、SDGsなど多様なテーマを扱い、より多角的な視点から社会と環境についての関心を高めていくようなコラムの発信をしてきました。

(2) 学習活動

①環境講演会

11月7日、ウェスタ川越にて新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、環境講演会「プラスチックごみはなぜ減らないのか〜リサイクルと減量方法〜」を催し、会場では42名の参加者がありました。また、オンラインによる同時配信も行いました。講演会では、川越市のごみ処理の状況やごみの減量について先進的な事例の紹介などもあり、改めてリサイクルの重要性を考える場となりました。

②2020アースデイ川越 in 昭和の街への参加

10月4日と11日に開催された「2020アースデイ川越 in 昭和の街」において、かわごえ環境ネットでは、「みつけてみよう!!みんなのおうちからつながる世界」と『川越の自然』バーチャルツアー」と題したふたつのオンラインワークショップを実施しました。

③市内の環境関連団体へのインタビューの実施

川越において、SDGs「持続可能な開発目標」の普及状況を把握するため、6月26日に社会環境部会のメンバー4名で「川越環境保全連絡協議会」を訪問し、企業に対するSDGsの普及を促していくための講演会等の実施状況についてインタビューを行いました。

④環境関連施設の視察会

例年実施していました環境関連施設の視察会については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から活動を自粛しました。

5. 自然環境部会

2020年1月に始まったコロナ禍は日本、世界を大きく変えました。これまで当たり前だったことができなくなり、国民生活も大きな打撃を受けています。そのような状況下で、自然環境部会の事業計画も見直しを余儀なくされました。一般の方を対象としたイベントは概ね中止とし、実施する場合はよほど感染対策を講じたうえで実施しました。調査・保全活動に関しては、野外で行うもので「密」な状態にはならないので、ほぼ計画通り実施しました。

(1) 行政とのパートナーシップについて

2017年度から始まった川越市の「かわごえ生き物調査」に、データ提供などの協力を行いました。また、8月1日の「虫の観察会」や9月20日の「生き物観察会」を、川越市との共催で実施しました。その他、川越市主催の10月31日の「古谷湿地さかな観察会」、3月27日の講座「かわごえの生き物をたずねて」に協力しました。

(2) 調査活動について

「(仮称)川越市森林公園」計画地と池辺公園では、毎月定例での動植物調査を実施しました。また、寺尾調節池や新河岸川河川敷などの生き物調査を実施しました。調査の精度を上げるためや調査員のスキルアップのために、牧野彰吾氏、新井浩二氏などの専門家を講師に招きました。

(3) 保全再生活動について

「(仮称)川越市森林公園」計画地と池辺公園では、在来種や絶滅危惧種などの保全再生活動を毎月定例で実施しました。また、11月に発足した「川越フォレストクラブ」はチェーンソーなどの動力機械の経験者が多く、自然環境部会のメンバーと協力して保全作業にあたり、効率的に手入れができました。

(4) 自然観察会

一般市民に川越の自然を楽しみながら知ってもらうために「(仮称)川越市森林公園」計画地で例年行っている観察会や「キノコの観察会」は、コロナ禍で中止しました。

(5) イベント

田んぼの生き物調査(6月27日)は、「NPO法人かわごえ里山イニシアチブ」との共催にて福田地区の田んぼで専門家を講師に招いて行いました。「小畔川魚とり遊び」は例年9月中旬に行っていましたがコロナ禍で中止となりました。また、バスを利用した研修会も企画しませんでした。

(6) 学校教育支援

自然環境教育の一環として、例年、高階北小学校、今成小学校の支援をしていましたが、学校自体が2か月間に及ぶ休校措置になり、校外学習どころではない状況で要請はありませんでした。

(7) 新訂版「川越の自然」編集

編集委員のほとんどが自然環境部会のメンバーで、市内各所のフィールドワークを積み重ねながら記事に落としとしていき、写真を撮り直すなど一年を通じて執筆活動をし、予定通り2月27日に刊行できました。

2020年度 自然環境部会活動実績

表中【定】池辺 は池辺公園定例活動 毎月第2火曜日

【定】川森 は「(仮称)川越市森林公園」計画地 定例活動 第2、第4月曜日

年	月	実施項目	備考
2020年	4月	・ 【定】池辺 植物調査 4/14(火) 7名参加 ・ 【定】川森 植物調査 4/13(月) 雨中止、4/27(月) コロナ中止	
	5月	・ 【定】池辺 植物調査 5/12(火) 6名 ・ 【定】川森 植物調査 5/11(月) 10名、5/25(月) 14名 ・ 「春の里山 自然観察&クリーン活動」 5/10(日) スタッフのみ ・ 植物調査 5/15(金) 伊佐沼 牧野氏講師 参加者11名 ・ 昆虫調査 5/30(土) 川森 新井氏講師 参加者10名	一般対象
	6月	・ 【定】池辺 保全活動 6/4(火) 9名 ・ 【定】川森 植物調査 6/8(月) 18名、6/22(月) 雨中止 ・ 今成小学校学習支援 要請なし ・ 高階北小学校3年生学習支援 要請なし ・ 川の水質一斉調査 6/7(日)	

	<ul style="list-style-type: none"> 植物調査 6/15(月) 仙波河岸史跡公園 牧野氏講師 13名 田んぼの生きもの調査(動物編) 福田地区 6/27(日) 30名 三ツ又沼ビオトープフィールドワーク 6/29(月) 5名 	一般対象	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 【定】池辺 植物調査 7/14(火) 雨中止 【定】川森 植物調査 7/13(月) 21名、7/27(月) 雨中止 キノコの観察会「(仮称)川越市森林公園」計画地 7/5(土) コロナ中止 植物調査 7/20(月)下赤坂ふるさとの緑の景観地 講師牧野氏 12名 寺尾調節池昆虫調査 7/28(火) 3名 社寺林フィールドワーク 7/28(火) 喜多院、中院 10名 	一般対象	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 「虫の観察会」 「(仮称)川越市森林公園」計画地 8/1(土) 20名 エコプロダクツ川越 出展 コロナで企画なし 【定】池辺 植物調査 8/11(火) 7名 植物調査まとめ勉強会 8/28(金) 牧野氏講師 ウェスタ川越 11名 	一般対象 一般対象	
9月	<ul style="list-style-type: none"> 【定】池辺 保全活動 9/8(火) 8名 甲虫調査 9/1(土)「(仮称)川越市森林公園」計画地 雨のため中止 【定】川森 植物調査 9/14(月) 18名、9/28(月) 18名 小畔川魚とり遊び 9/20(日) コロナ中止 川越水上公園生き物観察会 9/20(日) 20名 市主催協力 	一般対象 一般対象	
10月	<ul style="list-style-type: none"> 【定】池辺 植物調査 10/13(火) 10名 【定】川森 植物調査 10/12(月) 21名 名、10/26(月) 20名 昆虫調査 10/4(日) 「(仮称)川越市森林公園」計画地 8名 古谷湿地魚観察会 10/31(土) 15名 市に協力 	一般対象	
11月	<ul style="list-style-type: none"> 【定】池辺 保全活動 11/10(火) 9名 【定】川森 植物調査 11/9(月) 19名、11/23(月) 17名 高階北小学校学習支援 要請なし 		
12月	<ul style="list-style-type: none"> 【定】池辺 保全活動 12/8(火) 7名 【定】川森 植物調査 12/14(月) 21名 		
2021年	1月	<ul style="list-style-type: none"> 【定】池辺 保全活動 1/12(火) 悪天候中止 【定】川森 保全活動 1/11(月) 16名 1/25(月) 20名 	
	2月	<ul style="list-style-type: none"> 【定】池辺 保全活動 2/4(火) 8名 【定】川森 植物調査 2/8(月) 21名、2/22(月) 19名 植物勉強会 2/1(月) ウェスタ川越 講師: 牧野彰吾氏 11名 かわごえ環境フォーラム 2/27(土) 新訂版「川越の自然」刊行 	一般対象
	3月	<ul style="list-style-type: none"> 【定】池辺 保全活動 3/9(火) 9名 【定】川森 植物調査 3/8(月) 10名、3/22(月) 20名 「かわごえの生き物をたずねて」3/27(日) 「(仮称)川越市森林公園」計画地 	一般対象

6. 設立20周年記念事業実行委員会出版専門委員会

本会設立20周年記念事業として、2月27日に「新訂版 川越の自然 一雑木林・河川・公園・湧水・社寺林を訪ねて」を3,000部発行しました。15名の編集委員が執筆と編集にあたり、監修者や協力団体・個人の協力を得て、設立10周年記念事業として出版した「川越の自然」以降の10年間の情報を集積することができました。

発行にあたって寄付を募り、26団体と250名から多大な寄付金をいただきました。寄付者に出版された本を贈呈するとともに、一般への有償頒布と公共団体などへの無償進呈を順次実施しました。

議案第2号 2020年度決算報告及び会計監査報告

収入

単位:円

項	目	予算額	収入済額	差引	説明
会費		241,000	232,000	△ 9,000	
	年会費	241,000	232,000	△ 9,000	個人:1,000円×131人 民間団体等:2,000円×48団体(合計:179) 過年度分:5,000円
負担金		169,500	0	△ 169,500	
	参加者負担金	169,500	0	△ 169,500	
補助金		380,000	380,000	0	
	川越市補助金	380,000	380,000	0	川越市補助金
委託金		0	0	0	
	委託金	0	0	0	
協賛金		125,000	100,000	△ 25,000	
	協賛金	125,000	100,000	△ 25,000	協賛金 25,000円×4者(株環境総合研究所、バイオニア株、初雁興業株、武州ガス株)
繰越金		299,935	299,935	0	
	繰越金	299,935	299,935	0	2019年度より繰越
諸収入		1,022,602	1,051,542	28,940	
	預金利子	2	2	0	
	寄付金	0	994,000	994,000	新訂版「川越の自然」寄付金
	雑入	1,022,600	57,540	△ 965,060	冊子売上40,700円(新訂版「川越の自然」売上700円×43冊、編集委員買取500円×20冊、郵送料600円) 2,680円(「川越の自然を訪ねて きのご編」500円×5冊、振込手数料180円) 返還保険料 1,560円(夏の郊外クリーン活動323円秋のクリーン活動237円、歳末まち美化活動1,000円) 施設利用料返還12,600円(第18回環境フォーラム会場)
助成金		600,000	500,000	△ 100,000	
	助成金	600,000	500,000	△ 100,000	新訂版「川越の自然」助成金(サイサン環境保全基金より)
合計		2,838,037	2,563,477	△ 274,560	

支出

項	目	予算額	支出済額	差引	説明
事業費		2,747,500	2,393,503	353,997	※コロナ禍により事業活動が縮小
	報償費	334,000	207,000	127,000	講師謝金 他
	旅費	3,000	4,980	△ 1,980	自然環境部会事業 打ち合わせ 他
	需用費	1,953,000	1,905,506	47,494	かわごえ環境活動報告集208,780円、新訂版「川越の自然」印刷製本費1,584,880円 他
	役務費	249,000	219,567	29,433	月刊かわごえ環境ネット送料 他
	使用料及び賃借料	208,500	56,450	152,050	かわごえ環境フォーラム会場使用料 他
	備品購入費	0	0	0	
事務費		52,000	14,583	37,417	
	旅費	2,000	0	2,000	
	需用費	1,000	0	1,000	
	役務費	40,000	8,431	31,569	ゆうメール代、はがき代、切手代他
	負担金	9,000	6,152	2,848	加盟団体年会費
予備費		38,537	0	38,537	
	予備費	38,537	0	38,537	
合計		2,838,037	2,408,086	429,951	

(収入済額) 2,563,477円 - (支出済額) 2,408,086円 = 155,391円 (2021年度へ繰越)

上記のとおり決算報告いたします。

かわごえ環境ネット
理事長 小瀬 博之

会計監査報告

2021年4月21日に2020年度かわごえ環境ネットの会計監査を実施したところ、適正に執行されていたので、これを報告いたします。

2021年4月21日

かわごえ環境ネット
監事 宮崎 誠
監事 渡辺 利衛

議案第3号 2021年度事業計画

2021年度事業計画（案）

1. 2021年度の基本方針及び全体事業

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見通せない状況にあります。このような状況でも環境問題は刻々と進行していますので、「ニューノーマル」な時代を見越して事業継続を模索し実行していくことが求められます。また、2022年の川越市制施行100周年、2025年を目標年度としている「第三次川越市環境基本計画」、2030年を目標としている「SDGs（持続可能な開発目標）」を視野に入れながら、川越市の望ましい環境像の実現に向けた活動を進める必要があります。本会は、2020年度に設立20周年記念事業として「新訂版 川越の自然」を出版しました。この本をはじめ、さまざまな資源を活用しながら環境活動の環を広げる事業を展開していきたいと考えています。

本会の目的である「川越市環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐるみで本市の望ましい環境像実現のための取り組みを活発にすること」に基づき、次の5つの事業について、全体事業を中心とした2021年度の具体的な事業を記します。

- (1) 【交流事業】2022年2月下旬に「第20回かわごえ環境フォーラム」をウエスタ川越で開催します。この行事では「環境活動報告会」「講演会」「シンポジウム」などの開催により、環境活動に関する情報交流と情報共有を図ります。なお、「懇親会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から当面の間休止します。
- (2) 【普及・啓発事業】地域のごみ削減による環境改善と持続可能な開発につながるライフスタイルの普及に資する「クリーン活動」について、5月9日の「春の里山自然観察&クリーン活動」、7月18日の「夏の郊外クリーン活動」、10月16日の「秋のクリーン活動」、12月19日の川越中心市街地における「歳末まち美化活動」の計4回実施します。また、10月に開催予定の「2021アースデイ川越 in 昭和の街」をはじめ、川越市内外で行われる環境活動の普及・啓発イベントへ出展・参加を検討します。川越市（環境政策課）が主催する環境月間ポスターコンクールにおいて「環境ネット賞」を選定します。各専門委員会において講演会や勉強会を開催し、関心の高い環境問題に対する意識向上や啓発を図ります。その他、月刊かわごえ環境ネットのコラムを通じて環境活動に関する普及・啓発を図ります。
- (3) 【調査・研究事業】6月6日の川越市内河川における「川の一斉水質調査」を流域団体の参加団体として実施するとともに、その他の流域団体の環境活動に協力します。また、専門委員会において自主的な調査・研究・保全活動を実施するとともに、「市民環境調査」「かわごえ生き物調査」など、川越市が実施する環境調査に協力します。さらに、「川越市環境行動計画」の推進のため、「環境に配慮した行動（チェックシート）」を、行事の来場者や会員・大学生に対して実施します。
- (4) 【学習支援事業】学校の環境学習支援については、要請があった場合に対応します。
- (5) 【広報・情報事業】本会の広報として「月刊かわごえ環境ネット」を年12回発行し、情報の蓄積と共有を図ります。なお、資源消費と費用の削減の観点から「会員限定メールサービス」の利用者を大幅に拡大させます。また、Webサイトの運営とソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）、動画配信サービス YouTube を活用

することで、情報のデジタル化を積極的に推進します。2021年2月に発行した設立20周年記念出版「新訂版 川越の自然」の頒布を進め、川越の自然環境の側面を広報します。また、第20回かわごえ環境フォーラム『かわごえ環境活動報告集』を発行し、川越市における環境活動の情報集成を図ります。さらに、川越市が発行する『令和3年度版 かわごえの環境(第5号)』の「市民・事業者の環境への取組状況」に、前年度の川越市環境行動計画の「環境に配慮した行動(チェックシート)」の集計結果及び川越市における本会等の協働事業を掲載します。

2. 広報委員会

会員内外を対象とした広報として2006年11月から発行している「月刊かわごえ環境ネット」は、2021年4月で174号となりました。広報は、コラムによる環境行動の啓発、報告による情報の蓄積、予告による活動の告知の3つの側面を果たしています。広報のデジタル化については、2001年のWebサイト設置から2020年のYouTubeチャンネルの開設まで、さまざまな方法で積極的に進めてまいりましたが、これをさらに進め、特に「会員限定メールサービス」の利用者を大幅に増大させることにより、資源消費量と費用の大幅な削減を図ってまいります。これには会員の協力が不可欠です。デジタル活用のための支援も含め対応していきますので、不明な点は遠慮なくお問い合わせください。

その一方で、これまで通り年間12回の「月刊かわごえ環境ネット」を紙版と電子版で発行し、会員内外の広報と情報交流に努めます。なお、「月刊かわごえ環境ネット」については、デジタル化の推進の観点から最適な体裁について検討してまいります。

3. 社会環境部会

①定例部会の活性化とコラムの充実

社会環境部会では昨年から新体制となり、部会員のコミュニケーションを大切にし、より一層の例会の活性化を図っていきます。2021年度の例会では、前半はこれまで通りかわごえ環境ネットの全体事業や社会環境部会の活動に関する報告及び協議を行い、後半は部会員が持ち寄った社会環境に関するテーマの発表と意見交換を行っていく予定です。コラムに関しても「社会と環境について思うこと」というテーマのもと、各部会員の考える問題意識や地域課題などについて発信していきます。

②学習活動

環境講演会については、今年度も11月開催を予定しています。環境関連施設の視察会については新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて中止とし、2022年度に再開予定です。

③SDGsの普及・啓発

これまでの月刊紙でのSDGsに関する連載や例会での学習を踏まえ、本年度はSDGsをより広めていくためのワークショップを計画しています。

④社会環境に関する調査

社会環境部会の新規事業として社会環境に関するアンケート調査を実施予定です。調査テーマについては検討中ですが、環境問題や農業、河川の利用、公園など様々なテーマが候補としてあがっています。市民の声を市政に活かしていけるような試みを計画しています。

⑤他の環境関連団体との連携強化

市内での環境に関連する団体のネットワークを広げていくため、他の団体への見学やインタビュー等を行い、連携の強化を図っていきます。

⑥イベント出展

「アースデイ川越」、「北公民館まつり」については、今年度も引き続き積極的に参加する予定です。

4. 自然環境部会

現在は科学技術やITの進歩で便利な時代になりましたが、世界に目を向けると紛争や気候変動など課題は山積です。中でも気候変動は異変ともいうべきで明らかに災害の多発につながっています。日本でも「災害は忘れたころにやってくる」ではなく、「次から次へとやってくる」という被災者の言葉がありました。川越でもここ数年現実のものとなっています。このような事態にどう対応していけばよいのでしょうか。根本的などころでは人類の行為が自然の回復力を越えて、持続しなくなったということでしょう。2015年に国連で合意したSDGsは世界が協力して解決することを目指しています。

本会もSDGsの目標を考慮しながら事業を進めています。自然環境部会のテーマは、「生物多様性保全の向上 ～川越の生き物を知ろう、ふれよう、親しもう～」です。川越に残る良好な自然環境の調査と記録、そして保全・再生への取り組みです。2017年度から川越市が「かわごえ生き物調査」を実施しており、自然環境部会が協力し、それに伴う観察会は共催で行っています。市民生き物調査から提供されたデータは川越の自然の実態把握に資することになります。そこから新たな保全策が生まれると期待しています。人も生き物も自然に依拠しています。今年度もコロナ禍の影響が続いていますので、感染防止対策をとりながらの実践になります。

(1) 行政とのパートナーシップ

前年度に引き続き、川越市の「かわごえ生き物調査」に協力します。調査データの提供とともに、生き物観察会を共催で実施する予定です。今年度は開始から5年になり、中間点となりますので、これまでのまとめをする予定です。

(2) 調査・保全再生活動

前年度に引き続き、「(仮称)川越市森林公園」計画地、池辺公園での定例活動を実施します。定点的に行っている寺尾調節池周辺での調査活動も継続します。全市的な生き物調査はメッシュコードのうち未調査のメッシュをカバーする予定です。また、ナラ枯れ被害が見られる雑木林への調査・対策を地元ボランティアに協力して行います。

(3) 自然観察会

前年度は、本会主催の観察会はすべて中止しましたが、市と共催の観察会は感染対策を講じて実施することができました。今年度は募集人数を少なくするなどの対策をとって実施する予定です。

(4) イベント

前年度はバスを利用した研修会は中止しました。今年度もコロナ禍の状況が続くと予想されるので計画をしていません。「かわごえ里山イニシアチブ」と共催の「田んぼの生きもの調査」は前年度と同様に実施予定です。「小畔川の自然を考える会」と共催の「小畔川魚とり遊び」は前年度は中止しましたが、今年度は募集を少なくして実施する予定です。

(5) 学校教育支援

前年度は、学校自体が休校になるなど、教育現場にとっては未曾有の事態でした。今年度も、様々な事情で校外学習そのものが計画されないことが予想されます。子どもたちの体験学習の機会が失われないことを願い、気持ちの準備はしておきます。

2021年度 自然環境部会事業計画

生物多様性保全の向上 ～川越の生き物を知ろう、ふれよう、親しもう～

項目	実施内容	実施場所・時期
1. 行政との パートナーシップ	川越市の「かわごえ生き物調査」や関連 イベント協力	講座は年3回予定 ・川森「虫の観察会」 8月上旬 ・水上公園「生き物の観察会」 9月 ・川森「生き物の観察会」 3月
2. 調査・保全活動	①雑木林などの調査・保全 ②ナラ枯れ対策(ネットなどによる防除) ③生き物調査(講師を招いての調査も) 植物だけでなく動物も	・「(仮称)川越市森林公園」計画地 毎月第2、4月曜日 ・池辺公園 毎月第2火曜日 ・「(仮称)川越市森林公園」計画地 ・特徴ある環境での調査(4か所くらい) 未調査のメッシュ ・寺尾調節池の昆虫調査
3. 自然観察会	①「社寺林の観察会」 ②「キノコの観察会」 ③「虫の観察会」川越市と共催 ④キタミソウ観察会	・喜多院、中院 6月20日(日) ・「(仮称)川越市森林公園」計画地 7月3日(土) ・「(仮称)川越市森林公園」計画地 8月上旬(土日) ・伊佐沼 11月
4. イベント	①田んぼのいきもの調査 ②バス利用自然研修会 ③小畔川魚とり遊び	・福田田んぼ周辺 6月26日(土) 「かわごえ里山イニシアチブ」と共催 ・今年度は中止 ・小畔川旧霞ヶ関北小学校前親水ゾーン 9月中旬(土日) 「小畔川の自然を考える会」と共催
5. 学校教育支援	一昨年は高階北小学校、今成小学校	・要請があれば随時
6. 法令勉強会	環境基本計画・緑の基本計画を生かすた めの提案、提言のために	・随時 生物多様性保全の勉強会など
7. 全体活動	①「春の里山自然観察&クリーン活動」 ②川の一斉水質検査 ③第20回かわごえ環境フォーラム	・「(仮称)川越市森林公園」計画地 5月9日(日) 6月6日(日) 未定
8. 情報発信	「かわごえ生き物調査」の報告書作成。 環境政策課との共著にしたい	

5. 設立20周年記念事業実行委員会出版専門委員会

2021年2月27日に設立20周年記念出版として「新訂版 川越の自然 ー雑木林・河川・公園・湧水・社寺林を訪ねてー」を3,000部発行しました。今年度は、公共機関への無償頒布、一般への有償頒布を進めながら、この本の広報と活用に努めます。

議案第5号 2021年度予算

2021年度予算(案)

1 収入

(単位:円)

項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
会費		240,000	241,000	△ 1,000	
	年会費	240,000	241,000	△ 1,000	(個人1,000円×140人、団体2,000円×50団体)
負担金		7,000	169,500	△ 162,500	
	参加者 負担金	7,000	169,500	△ 162,500	自然観察会、田んぼの生きもの調査
補助金		304,000	380,000	△ 76,000	
	川越市 補助金	304,000	380,000	△ 76,000	川越市からの補助金
協賛金		100,000	125,000	△ 25,000	
	協賛金	100,000	125,000	△ 25,000	かわごえ環境フォーラム協賛金(4者)
繰越金		155,391	299,935	△ 144,544	
	前年度 繰越金	155,391	299,935	△ 144,544	前年度繰越金
諸収入		70,002	1,022,602	△ 952,600	
	預金利子	2	2	0	預金利子
	雑入	70,000	1,022,600	△ 952,600	川越の自然(新訂版)頒布700円×100冊
助成金		0	600,000	△ 600,000	
	助成金	0	600,000	△ 600,000	
合 計		876,393	2,838,037	△ 1,961,644	

2 支出

項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
事業費		790,500	2,747,500	△ 1,957,000	全体212,000円、社会環境100,000円、 自然環境154,500円、広報324,000円
	報償費	159,000	334,000	△ 175,000	講師謝金
	旅費	4,000	3,000	1,000	環境講演会講師打合せ等
	需用費	334,500	1,953,000	△ 1,618,500	環境活動報告集・消耗品・印刷製本費等
	役務費	247,000	249,000	△ 2,000	月刊紙送料、保険料等
	使用料及び 賃借料	46,000	208,500	△ 162,500	会場使用料
	備品購入費	0	0	0	
事務費		32,000	52,000	△ 20,000	
	旅費	2,000	2,000	0	加盟団体総会参加
	需用費	1,000	1,000	0	コピー用紙等
	役務費	20,000	40,000	△ 20,000	総会議案書送料、総会返信はがき等
	負担金	9,000	9,000	0	加盟団体年会費(環境ネットワーク埼玉ほか)
予備費		53,893	38,537	15,356	
	予備費	53,893	38,537	15,356	
合 計		876,393	2,838,037	△ 1,961,644	



【事務局】

川越市環境部環境政策課

所在地 〒350-8601 川越市元町 1-3-1

電話 224-5866

FAX 225-9800